

# 三浦市民ホールにてマグロづくしイベント

## 23.24 日に渡り4回開催!600 名を超える参加者が満喫!!

9月23日(土)24日(日)の両日10時30分から12時30分、12時30分から14時30分の計4回、三浦市民ホール(うみぎょうプレイスうらり2階)にて、三浦半島地域連合・労福協共催の『マグロづくし』イベントを開催しました。

新型コロナウイルス前は毎年恒例となっているイベントでしたが、新型コロナウイルスの影響を受けて4年振りの開催となり、一人でも多くの参加出来るよう4回開催としました。1回の開催に約150名、合計で600名を超える参加者が解体ショーを楽しむとともに、マグロのあらゆる部位を食べ満喫しました。

4回ともに主催者代表として三浦半島地域連合及川議長と三浦半島労福協中澤会長の挨拶後に本番スタート、今年度も鮪専門店「オーシャン・グロウ」の全面協力で行われ、70キロのマグロを使った解体ショーを詳しい解説付きで行われました。

マグロの解体ショーが始まると参加者は一斉に写真を撮り、日頃あまり見る事の出来ないマグロの解体を目の当たりにし、会場は大いに盛り上がりました。

解体をしながらマグロに関する質問コーナーも有り、子どもたちの素朴な疑問にオーシャン・グロウの職員の方が答えてくれました。

解体ショーは約30分、マグロはあっという間に解体され、ブロックに分けられ、参加者に提供されました。

解体されたマグロの刺身以外には、あまり食したことが無い部位の「マグロのから揚げ」「マグロの胃袋のワタ炒め」「たまごの煮つけ」「白ハツのナムル」など色々なマグロ料理に参加者は、美味や珍味を満喫し、感動していました。



70キロのマグロを4回、解体!



マグロの解体に感動!



解体したマグロは参加者のお腹に

帰りにはオーシャン・グロウをはじめとした、「うみぎょうプレイスうらり内」のお店で買い物などを楽しむ方も多くいました。新型コロナウイルス感染症法も5類となりましたので、感染対策をとりながら、ここまで封印して来た食のイベントを今後も行っていきます。